

第3学年特別活動学習指導案

日時 平成27年11月11日(水) 授業①
場所 八幡平市立西根中学校 3年2組教室
学級 3年2組(男子17名 女子14名 計31名)
授業者 佐々木 淑乃

1 題材

これからの私たちを考える～「我がヒーロー！」～
内容(2) 適応と成長及び健康安全
イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

2 題材について

(1) 生徒観

2年時から持ち上がりの学級である。昨年度は仲間同士の関係がうまく築けずに思い悩む生徒もいたが、行事や日々の営みを通して互いの良さを認め、悩みを明かし合い、分かり合える関係になった。

今年度は中学校生活最後の一年を過ごすことを意識し、多くの活動に対し協力して取り組み、学級全体で楽しもうとする前向きな姿勢が見られている。先月行われた中学校生活最後の文化祭に向けても、学級全員で目標に向かって力を合わせ、取り組みの成果を確かめ合うことができた。

このように学級集団のまとまりが見える一方で、馴れ合いが高じて生徒の役割に偏りが出てしまったり、悪ふざけが言動に表出してしまったりする場面があり、それを注意し合うことができない関係も見られる。また、H-QUの結果から、リーダー以外の生徒の中には、自分がクラスの中で認められていないと感じる生徒がいることも分かった。これらのことから、行事など集団としての努力の成果が、必ずしも生徒一人ひとりの成就感にはつながっていないことが分かる。

(2) 題材観

中学校学習指導要領特別活動編の学級活動(2)イ「自己及び他者の個性の理解と尊重」を目指すものである。そのために、大きな行事が終わっても充実した学級生活を送り、全員が笑顔で卒業を迎えるために自分がすべきことを考えさせる。その際、これまでの学級での活動の中で見えた仲間の良さから学び、自分の良さや課題を改めて見つめ直すきっかけとなるように進めていく。

本題材は、3学年の学級活動の中で「卒業までの学校生活で、どのような学級財産を残したいのか意見交流することを通して、学級の生徒の相互理解を深め、互いの個性を認め合い、問題解決に取り組んでいこうとする雰囲気や意欲を育てる」ことをねらいとして設定した。

(3) 指導観

本題材を通し、まずは現在の学級の良さについて、個々に抱えている考えを交流させたい。その中で、学級全体としての頑張りだけではなく、その元となる個々の頑張りにも目を向けられるようにさせたい。そして、誰もが学級の仲間に認められているという思いを抱かせ、一人一人が持っている良さや特徴を生かし、卒業までの学級生活をいかに充実したものにしていくか、そのために自分にできることは何かを考えさせたい。また、そのような思いや希望を行動化させることが、学級の発展へとつながることに気づかせたい。

本時の指導では、個の活動として、これまでの学校生活における一人ひとりの頑張りや学級目標に照らし合わせて評価させ、それらが、学級の良さが表出した行動であると気づかせる。そして、卒業へ向けてさらに高めたい学級の良さについて、グループでの話し合い活動によって交流させる。グループ活動を経ることにより、自分には気づかなかった仲間の頑張りや、これまで日々を見なかった自他の地道な頑張りにも目を向けさせ、互いの良さを見つめ直すきっかけとさせたい。その活動後に、これからの自分にできることは何かを個々に考えさせ、学級目標の実現へ向けた行動指針を立てさせたい。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

卒業までの学校生活で、学級目標の達成に向け学級としてより高めたいことを意見交流し、個々の良さについて相互に理解を深め、自分の行動指針を立てる。

(2) 題材の評価規準

集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自他を認め合い、学級生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的、自立的に日常生活を送ろうとしている。	日常生活や学級における仲間の良さを認め、集団生活の向上に向け、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 (評価方法 記述)	集団における個の大切さや自らの頑張りの大切さ、充実した生活にむけての実践の仕方、集団生活の向上などについて理解している。

4 活動と指導の見通しと評価 (全4時間)

時間	活動内容	評価規準と評価方法		
		集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
1	・文化祭に向けての学級での目標を立て、達成に向けて活動計画を立てる。 学級文化の創造 (9月第3週)	文化祭で自分たちらしさを伝えるために大切なこと、自分がすべきことを考えようとしている。	中学校生活最後となる文化祭を通して、自分たちらしさを表現するための行動指針を立てている。 (評価方法 記述、話し合い)	
言語活動	・学級の良さを出し合う。【小集団】 ・目標と行動方針を決定し、確認し合う。【小集団・全体】			
2	・文化祭目標を達成できたかどうか、それまでの取り組む姿勢はどうだったのか振り返る。 わたしたちの財産(10月第2週)		中学校生活最後の文化祭、合唱コンクールで自分たちの目標が達成できたのかを確認し合う。 (評価方法 記述、話し合い)	
※言	・文化祭を振り返る【個人】 ・文化祭に向けての学級としての頑張りを認め合う【全体】			
3本時	・大きな行事を終えた今、卒業に向け、学級目標の達成のために自分のやるべきことを考える。 これからの私たちを考える (11月第2週)		様々な場面での仲間の頑張りをを見つけ、自分の良さに気づき、これからの学級生活を向上させるための行動指針を立てている。 (評価方法 記述)	
※言	・仲間の頑張りを出し合う【小集団】 ・仲間の頑張りを認め合う【全体】 ・学級生活の向上のためにできることを考える【個人】			
4	・学級目標達成に向けて立てた自分の行動目標を振り返る。 2学期の反省 (12月第2週)			2学期の自分の頑張りと反省点に気づき、受験や卒業に向けてやるべき事を理解している。 (評価方法 観察、記述)
※言	・2学期の成果や課題を出し合う【個人→集団】 ・冬休みや3学期の目標ややるべきことを決定する【個人】			

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

仲間の良さや頑張りを改めて認め合い、より学級生活を向上させ、学級目標達成に向けて自分ができることを考え、相互理解を深め、これからの私たちを考える。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準	言語活動の工夫
① 【集団や社会の一員としての思考・判断・実践】	様々な場面での仲間の頑張りを見つけ、自分の良さに気づき、これからの学級生活を向上させるための行動指針を立てることができる。 (評価方法 ワークシート)	・個で考えた仲間の頑張りをもとに、学級目標達成に向け、生かしたいことや特に高めたいことをグループでの話し合い活動で行う。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導と評価	指導上の留意点
導入 15分	1 3年生での行事を振り返る。 【資料提示】	・学級での頑張りを振り返り、全ての大きな行事が終わってしまったことを全体で共有する。	・修学旅行、体育祭、文化祭を映像で振り返る
	2 これからの学級生活について考える。 3 学習課題を設定する。 【課題設定】	・行事が終わった今、これから卒業に向けてどう頑張るか投げかける。	・これまでの学級の成果は一人ひとりの頑張りがあったからこそだということを伝え、より高めていくためにどんな学級になっていくか考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 我らがヒーロー！ ～3月12日 enjoy time に向けてやるべきことを考えよう～ </div>			
展開 20分	3 学級目標達成に向け、高めたいことを考える ・個で考えた、学級目標に沿った仲間の頑張りを読み合う。 【情報分析】 ・学級として高めたいことを考える。 【思考・判断】	・卒業に向けて学級目標 enjoy time 達成を意識させる。 ・個人の頑張りにも目を向け、学級としてこれまでの良さから生かしたいこと、高めたいことを考えさせる。	・事前に個の頑張りや学級目標の5項目（ポジティブ、心一つに、楽しく、健康第一、進路実現）をもとに考えさせておく。 ・前時までに考えた個の頑張りや学級目標をまとめたプリントを配布する。 ・目立つ場での頑張りだけでなく、地道な頑張りにも目を向けさせる。 (具体例を挙げて)
	4 学級全体で共有する ・各班で考えた、高めたいことを発表し合う。 【表現】	・改めて学級の良さや仲間に恵まれたことに気づかせるとともに、これから高めたいことも真摯に考えさせる。	・各班の考えを黒板に貼って示す。

<p>終末15分</p>	<p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを行い、どんな学級にしていくなか、自分がこれからどうすべきかを考える。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級目標に沿って、一人一人それぞれ違った頑張りや良さがあり、それを認め合う。その頑張りから学び、さらに自分の良さも生かしながら、学級目標達成に向け、学級の一員として、今後、自分がどう行動していくかを考えさせる。 <p>【思・判】 様々な場面での仲間の頑張りを見つけ、自分の良さに気付き、これからの学級生活を向上させるための行動指針を立てることができる。</p> <p>(評価方法 ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ具体的に考えさせる。 <p>(例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動を頑張っているのであれば、「学級生活がスムーズに送れるように、係活動を欠かさずじぶんからやる」 ・ただ楽しさを求めるのではなく、進路実現のために「9時以降はメールのやりとりをしないようにみんなに呼びかける」 ・学習に集中出来るように「教室環境を整えるために掃除をしっかりとやり、棚の整理まで毎日行う」など。)
	<p>6 学習を共有し、目標を確かめ合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからどんな学級にしていくなか改めて確かめ合い今後につなげる。 	

(4) 事後の指導 (見通しとサポート、支援について)

時期	活動内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
12月第2週	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けて、学級目標達成のために考えた、自分のやるべきことの実践状況を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の終わりに、実践状況を振り返る場を設け、3学期につなげる。 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期の自分の頑張りや反省点に気付き、受験や卒業に向けてやるべき事を理解している。 <p>(評価方法 観察、ワークシート)</p>

(5) 板書計画

我がヒーロー! ~3月12日 enjoy time に向けてやるべきことを考えよう~

ポジティブに

心一つに

楽しく

健康第一

進路実現

➡

Enjoy time !!